

令和6年度特色ある学校づくり推進事業報告書

学校番号（ 30 ） 学校名 豊田市立幸海小学校

1 テーマ

ふるさとを知り、ふるさとに学び、ふるさとと生きる幸海っ子の育成
－体験的な活動を通して、ふるさと学習を深める－

2 ねらい

- (1) 自然環境に恵まれた幸海地区に誇りと希望をもち、ふるさとが大好きな子どもを育てる。
- (2) ふるさとの人々の歴史と生活、他地域との関わり等について体験的に学習する活動を通して、自信をもって生きる子どもを育てる。
- (3) 地域講師やボランティアとのふれ合いから、「人」との結びつきを実感できる子どもを育てる。
- (4) それぞれの体験活動で学んだことや感じたことを伝え合い、視野を広げる機会とする。

3 活動内容

(1) ふるさとの自然から学ぶ

- ・学区内の自然観察や川遊びで生き物について知ったり、地域の方からの話を聞いたりする「春のふるさと探し」(全校)
- ・白山川の水生生物・環境調査、森林についての学習といった体験的活動(4年)
- ・栽培活動を中心として自然を学ぶ、サツマイモ栽培・収穫(全校)、大根栽培・収穫(2年)、シイタケ栽培(3年)、米作り(5年)

(2) ふるさとの歴史から学ぶ

- ・校区内外の歴史的史跡や施設を探訪し、人々の生活について学ぶ「秋のふるさとウォーク」(3、5、6年)
- ・昔の遊びを地域の方と一緒に行う体験学習(1、2年)

(3) ふるさとから視野を広げる

- ・近隣地域とふるさと幸海地区のかかわりや風習、人々の生活の様子を学んだり体験したりする。「秋のふるさとウォーク」「ふるさと学習」(各学年)

4 成果と課題

(1) 成果

- ・ふるさとの名所や施設に行き、体験活動をしたり地域の方から話を聞いたりする中でふるさとのことを知るとともに、ふるさとを大切にしていこうとする気持ちを高めることができた。6年生は、自分たちで作成した地域の名所マップを紹介し、「もっと詳しく知ることがでるように調べ続けてほしい」と呼びかけた。
- ・地域講師や地域ボランティアの方など、いろいろな人のつながりを感じながら活動できた。特に、栽培活動では地域の方から様々な栽培の知恵を学んでいた。
- ・保護者アンケートの結果、評価点が0.2ポイント上昇(3.4→3.6)し、保護者からも評価を得ている。

(2) 課題

- ・栽培の講師の方が高齢となり、今後、新しい講師の方を探していくかなければならない。

5 保護者・地域への情報発信の取組実績

- ・活動をしたときは、必ずホームページに記事を掲載し、各学年の取組を紹介した。200ビューを超える閲覧数の日もあった。
- ・2月の学習発表会で、地域の歴史や栽培活動のまとめなど、特色ある学校づくり推進事業に関する取組を保護者に発表した。